

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点目標】

『学び合い高め合う子どもの育成』

〔笑顔!〕〔習慣!〕〔学び合い!〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

『子どものたおやかな感性にふれて』

校長 木村 英明

「いさりびと 粉雪が舞う 江差の海」(「江差町小中学生俳句展25周年入選作品集」より)

例年より早く冬将軍が到来して寒い日が続いていますが、目の前に広がる海でのイカやスケソウダラ、ホッケなど近海の漁模様が回復してくれることを願う今日この頃です。

さて、11月22日の朝、福島県沖を震源とするM7.4程度の地震が発生しました。気象庁は東日本大震災の余震域内での地震と発表したのですが「5年以上が経過してもまだ余震が発生するのか」と驚かされます。「地震」は英語で「Earthquake=地球の身震い」と書きますが、地球にとっては小さな身震いでも私たち人間にとっては甚大な自然災害になります。

また、今月のニュースの中で横浜市の学校に転校した福島県の被災児童がいじめ被害にあった記事がありました。地震という自然災害の被害にあって傷ついた児童が、さらにいじめという人的行為による被害で苦しむという構図は本当に胸が痛みます。そして、このような記事を読むと、最近の子どもたちの心が凍り付いているかに考えてしまうのですが、その一方で子どもたちの心のたおやかさを感じることもありました。
※たおやか：しなやかで美しいようす

11月2日(水)に函館市民会館で開催された全日本音楽教育研究大会の記念演奏に出演する本校の5年生に同行した時のことです。まず、5年生の子どもたちは控室で待機しているのですが、どの子どもも緊張する様子が見えません。大勢の観客の前で発表するのにどうして緊張しないのか?それは、きっと仲間と一緒にいる安心感が根底にあるのではないかと思います。

そして、無事に発表が終了した舞台裏。「沖揚げ音頭」に使った網にはニシンの模型がたくさんからんでいて、これを大急ぎで撤収する必要がありました。その撤収を自分たちから手伝ってくれたのが、舞台袖で控えていた函館遺愛高校や中部高校などの合唱部の女子生徒でした。

次に控室に戻ってきて師匠の菊地 勲様の講評がありました。「君たちの素晴らしい姿を見て、私も誇らしい」と最高の言葉で称賛してくださいました。その時の5年生の子どもたちの表情は少し照れながらも達成感に溢れたとってもいい表情をしていました。

また、11月25日(金)には本校と江差小学校・江差中学校の3校で進めるトライアングルサポートの事業として「江小南小6年合同学習会」を江差中学校で開催しました。この日は直接江差中学校に登校し、江差小学校の6年生と2時間の授業を行いました。その一コマが音楽の学習でした。中学校の音楽の先生の指導のもと、最初はお細かった41名の声がかたかた強くなり、ひとつひとつになっていく様子を目の当たりにしました。確かに初めての出会いに不安はつきものです。しかし、この日の経験はその不安を期待に変えてくれたのではないかと願っています。

日曜参観日～多数の参観ありがとうございました

11月13日（日）、日曜参観日を開催しました。全校で9割近くの参加率となりました。いつも熱心にご参観いただき、ありがとうございます。授業の一コマを紹介します。

1年図工「リースをつくろう」



ドーナツ型に切り抜いた厚紙に、飾りになるマカロニを並び方を考えて貼っていきました。

2年体育「マット運動」



アドベンチャーランドとして、マットや平均台、なわとびなどに果敢にチャレンジしていました。

3年理科「ものの重さ」



粘土と発泡スチロール、同じ大きさでも重さが違うことを実際に量って確かめました。

4年理科「ものの温度と体積」



お湯につけて膨らんだペットボトルを氷水に入れるとへこんで縮まる（体積減）ことを発見。

5年国語「和語・漢語・外来語」



例えばガーゼは？辞書で調べるとドイツ語でした。外来語をたくさん調べて紹介していました。

6年算数「比例と反比例」



一方が10→300、もう一方は73→？ ?を比例の関係を使っておおよその数を考えました。

日曜参観日は、多くの方に本校の教育内容を理解していただくため、毎年必ず1回設定しています。普段お仕事等でなかなか都合がつかず、来校できない保護者の方にもぜひ参観していただければと思っておりました。本当に多くの方の参観をいただき、誠にありがとうございました。

フレンズサポート学習

ピア・サポート（仲間が相互に支え合い課題解決する活動）の考え方を基本に、学級づくりに生かす目的で、フレンズサポート学習（3～6年）を行いました。この取組を継続していくことで、悩みを一人で抱え込まないで、互いに助け合い、認め合う学校風土の創造につなげていきます。



〔どさんこ☆子ども地区会議～いじめ根絶へ！〕

11月5日（土）、いじめ・ネットトラブル根絶の標語並びにポスターの表彰後、児童会長の斉藤君と書記の片石君が、中学生・高校生と一緒にいじめ根絶についての話し合いに参加しました。



「ポジティブになれる交流を通して思いやれる人になろう！」と話し合いの結果、全体での行動目標（スローガン）が提案されました。本校においても児童会だよりを通して会議の様子を伝えるなど、今後もしじめ根絶に向けた活動につなげていきたいものです。



「レンガに刻む私のまち」が完成！

旧北海道庁赤レンガ前のアプローチに私の町を刻んだレンガが敷き詰められました。その様子を押見先生が撮影してくれました。

江差町としては7つのレンガがあるそうです。立ち寄ることがあった際には、是非探してみてくださいはいかがでしょうか。本校6年生の作品は3つあります。



同じアプローチ内に、矢印の場所以外にもレンガがあります。

〔みんなで学ぼう！考えよう！アウトメディア〕



情報機器学習会として、5・6年生を対象に実施しました。講師で来ていただいた中谷 通恵様から、「ネットで伝わる情報は、会って話すことに比べて1%も伝わらない。」ことを伝えられ、気持ちを伝え合うことの難しさを感じました。

また、テレビ・DVD・スマホ・パソコン・ケータイをしているときは、脳が休んでいることが多いということも知りました。

さらに、「脳は使えば使うほど育つ。」そのためには、①体を使ってみんなと元気に遊ぶ。②おしゃべりしながら友達や家族と遊ぶ。③家の手伝いをする。④体・声・手を使う勉強。が大切なことも知りました。

情報機器と上手に付き合うためにはどうしたらよいか。体力への影響や学習（脳）への影響なども学び、日頃から気をつけておくことを子どもたちは学びました。

全日本音楽教育研究大会全国大会に5年生参加

11月2日（金）に函館市民会館で日本音楽教育研究大会全国大会行われ、記念演奏会の中で5年生が「江差沖揚音頭」を披露してきました。この度の発表は、本校の学習発表会でもお世話になった江差沖揚音頭保存会の菊地 勲師匠はじめ、関係の方々のご協力を得て、全国から参加された



皆さんに披露することができました。「素晴らしくて、歌いながら涙が出そうになった」とお師匠さんからお言葉をいただく大変立派な発表であり、誇らしく感じました。地域の方々の伝統に裏打ちされたお力添えをいただいたことで大役を果たすことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

すべて素晴らしかったです。特に江差沖揚音頭には感嘆でした。初めて生で見ることができ、本当にきてよかったです。今後も永久に日本の貴重な文化財として、これからも伝承して行って下さい。小学生の純真で、はつらつとしたソーラン節と菊地さんの力強く生命感あふれる躍動的な歌唱、感動です。（参加者の感想より）

江差小6年南が丘小6年合同学習会 in 江差中

江差中学校を会場に、江差小と本校の6年生が、1・2時間目の時間を使い、一緒に中学校の音楽の授業等を体験する活動を行いました。江差中学校・江差小学校・南が丘小学校が連携協力して行った今回の活動についてご紹介します。

中学校に登校後の様子

朝、それぞれのグループ場所へ



8：05～めざましタイム

全員じゃんけんでリラックス



8：15～ホームルーム

今日の過ごし方等中学校の菊地先生よりお話



8：30～西山先生と音楽の授業体験（50分の授業時間を体験）

グループ毎に歌い方を考える



歌い方の紹介後、41名で合唱



9：30～授業の感想などを交流

グループごとにまとめを発表



江差中学校区の三校で進めているトライアングルサポートの活動は、小学校・中学校の先生方が、連携を深めることで、一人一人に応じたきめ細かな、そして、継続した指導を行うことで、児童・生徒の不安を軽減することをねらっています。

中学校に行くことに少なからず不安を持っている子どもたちが、不登校に陥らずスムーズに中学校生活に入っていけるよう、連携した取組について今後も模索していきたいと考えています。